

教育費対策プラン



Profile: 謙信アセットコンサルティング(香港) 代表取締役。香港在住歴9年の資産運用コンサルタント。特に将来的な年金・保険・教育費対策プランニングを得意とする。

華南在住の皆様、新年明けましておめでとうございます。私は香港在住10年目に突入しました。今年も皆様の役に立つ資産運用情報を提供していきたいと考えておりますので、本年もよろしくお願いたします。

海外大学の年間平均費用

年金・保険対策以外で、弊社がもう一つ得意としているのは教育費対策プランニングです。特に将来、子供を海外の英語圏の大学に行かせたいと思っている方には、香港の保険会社の目標設定型貯蓄プランの活用が有効です。

例えば、欧州系大手保険A社の目標設定型貯蓄プランは、親を名義人、子供を被保険者として申し込むことで、将来的な教育費対策としてだけでなく、貯蓄と保障を兼ね備えたプランとして活用することができます。将来的に子供を海外の英語圏の

大学に行かせる場合、国別の年間平均費用は以下のとおりとなっております。

- カナダ…120万円
- オーストラリア…140万円
- イギリス…210万円
- アメリカ(公立)…210万円
- アメリカ(私立)…290万円

最も学費の安いカナダでも、大学4年間で最低500万円の貯蓄は確保しておきたいものです。

目標設定型貯蓄プランの利回り

例えば、A社の目標設定型貯蓄プランに子供が1歳のときに加入して、18歳時点で500万円の貯蓄を目標とする場合、以下のようなプランの提案が可能です。米ドル建てプランですが、便宜上1ドル100円と仮定して、日本円表示で説明させていただきます。

まず、月払いもしくは年払いプランの総支払い保険料は以下

のとおりです。

- 36万円/月×8年=346万円
- 40万円/年×8年=320万円
- 18歳…503万円
- 30歳…899万円
- 65歳…4321万円

解約返戻金の使用目的は限定されていないので、教育費、不動産購入、年金対策など、またまった資金が必要となったときに解約時期を選択することができます。保険を解約しなければ、最長100歳まで保障が続き、長生きすればするほど、保険金も複利運用によって増えていきます。死亡年齢別の保険金は以下のとおりです。

- 70歳…5487万円
- 80歳…8629万円
- 100歳…2億1637万円

上記プランは教育費対策としてだけではなく、将来的に名義を親から子供に変更することで、子供のための年金対策、生命保障プランとしても活用することができます。保険の解約時には返戻金を一時金で受け取ることができます。運用を継続しながら、配当収入を定期的に引き出すことも可能です。

英語教育は今後も重要

先が読めない世の中ですが、まだまだ英語教育は重要です。

香港でも中国返還以降、すべての授業を英語で行なう学校の数を減らし、中国語で授業を行なう学校を増やしたところ、英語学校に親の人氣が殺到し、難関の英語学校へ入れるために子供を塾に行かせる親が増えていきました。そこまでしても子供に英語を身につけさせたいということなのでしょう。

中国の経済成長が続いても、米ドルの基軸通貨制度が変わらないのと同様に、国際ビジネスの共通言語はこれからも英語であり続けるでしょう。私たちの子供世代が大人になったとき、人口減少社会の日本国内の仕事だけで生き残っていくことは困難でしょうから、最低でも英語プラスアルファの能力が必要となります。

こんな時代だからこそ、子供には学生時代から海外生活を体験させておきたいものです。

今月のマネーの教訓

子供を海外の英語圏の大学に行かせるためには最低500万円の資金が必要。子供が小さいときから保険会社の目標設定型貯蓄プランに加入して、必要資金を確保しよう。国際ビジネスの共通言語が英語という事実はこれから変わらない。



将来の年金・保険対策はお済みですか？

「海外で作る自分年金セミナー」開催のお知らせ(参加費無料)

主催: Kenshin Asset Consulting (Hong Kong) Co., Ltd.

1月14日(土) 14:00~16:00 ▶ 深圳粵海酒店7F華南NET会議室

1月15日(日) 14:00~16:00 ▶ 香港日本人倶楽部18F会議室

http://www.kenshin.com/hk/ 社長ブログ: http://blog.explore.ne.jp/kitsu/

個別のご相談も随時受付中！

セミナーのお申込はメールもしくはお電話で

info@kenshin.com.hk

TEL: +852-3518-2425 (平日9時~18時)

住所: Room 1007, 10/F Capitol Centre Tower II, 28 Jardine's Crescent, Causeway Bay, Hong Kong